

Disk Array Sub System

TEXA

Ultra2 SCSI

3年保証

UNIX

Windows XP

Windows 2000

Windows NT

Windows 98

Windows 95

Mac OS

Linux

RDS-LC Series

ラックマウントのためのこれからの標準
19 インチラックマウント型 1U ディスクアレイサブシステム



Model	Price	Availability
RDS-219LC	価格	オープン
RAID-0 : 約 219GB RAID-1 : 約 73GB RAID-3/5 : 約 146GB		
RDS-108LC	価格	オープン
RAID-0 : 約 108GB RAID-1 : 約 36GB RAID-3/5 : 約 72GB		
RDS-54LC	価格	オープン
RAID-0 : 約 54GB RAID-1 : 約 18GB RAID-3/5 : 約 36GB		
RDS-27LC	価格	オープン
RAID-0 : 約 27GB RAID-1 : 約 9GB RAID-3/5 : 約 18GB		

インターネットサーバ、データセンタサーバ用の高信頼性外部記憶装置として開発された RDS シリーズの最速モデル。RAID-5 で NTSC 方式無圧縮のビデオ信号を 2 チャンネル同時使用を可能にし、最大実効データ転送速度、70MB/sec 以上のパフォーマンスを持ちます。厚さ 1U (約 44mm) サイズに、3 台の SCSI ハードディスクと専用ハードウェア RAID コントローラを搭載した 19 インチラックマウント型のディスクアレイサブシステムです。

各種 RAID モード対応

RAID-0/RAID-1/RAID-3/RAID-5 に対応しています。また専用のハードウェア RAID コントローラを搭載していますので、ホスト CPU への負担は一切ありません。

ホットリプレイス、オートリカバリ対応 (RAID-1/RAID-3/RAID-5 設定時機能)

システムの稼働を維持したままで、障害ディスクの交換が行えるホットリプレイス機能。交換されたディスクへデータの再構築を行うオートリカバリ機能に対応しています。

ディスク交換は、障害ディスクを抜き、新しいディスクを差し込むだけで完了します。ディスクが交換された事は自動で感知され、リカバリも自動で開始されます。

障害発生表示機能

ドライブの障害発生、データ転送の障害発生時にはブザー音が鳴り、ディスプレイ上にエラー内容を表示します。これにより障害原因の特定が迅速に行えます。また、稼働状態確認用として、背面にも POWER と FAULT 及び ACCESS インジケータを装備しています。

高速 Ultra2 SCSI インターフェース

ホストとのインターフェースは、最大データ転送速度が 80MB/sec (論理値) の Ultra2 SCSI です。

転送方式は LVD (Low Voltage Differential) です。安定した高速なデータ転送が実現できます。

また、従来の Wide Ultra SCSI (Single-Ended) のインターフェースでも使用可能です。

RDS-LC Series Benchmark Results

PC: Pen III 450MHz RAID Mode: RAID-5
SCSI/F: AHA-2940U2W Cache: 64MB



